

2年^{ねん}
せつめい文^{ぶん}
11ばん

なまえ

© School Stock

たけのこのせいちょう

こたえ

2年 せつめい文 二ばん

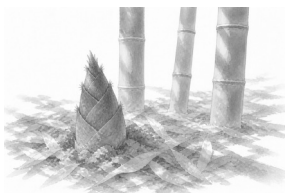
なまえ

春になると、竹やぶの土の中から、たけのこが顔を出します。たけのこは、竹の子どもです。

たけのこは、とてもはやくのびます。一日に一メートルちかくのびることもあります。どうして、そんなにはやいのでしょうか。

竹には、ふしがたくさんあります。ふつうの木は、先のほうだけがのびます。ところが竹は、ふしとふしの間が、それぞれのびます。のびるところがたくさんあるので、ぐんぐん高くなるのです。

土の中には、竹のくきがよこに長くのびています。たけのこは、このくきから出てきます。だから、竹やぶの竹は、土の中でつながっているのです。



(1) 「ぐんぐん」のいみに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア 少しずつ、ゆっくりと

イ ときどき、休みながら

ウ いきおいよく、どんどん

エ ゆらゆら、ゆれながら

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア たけのこは、一日に一メートルちかくのびることもある。

イ たけのこは、秋になると土から顔を出す。

ウ 竹は、先のほうだけがのびていく。

エ 竹やぶの竹は、土の中でつながっていない。

(3) ふつうの木とちがって、竹はどこがのびますか。文しよから七字で書きぬきましょう。

間	ふ	し	と		ふ	し	の	
---	---	---	---	--	---	---	---	--

(4) 竹やぶの竹が、土の中でつながっているのはなぜですか。「たけのこ」をつかって書きましょう。

(れい) たけのこは、土の中のくきから出てくるから。

書き方のヒント

四つ目のだんらくの「だから」の前の文を見てみよう。

「〜から。」でお知らせる。

解答・解説 たけのこの せいちょう（2年・せつめい文）

もん 問1 ウ

みつめ 三つ目の だんらくに「のびる ところがたくさん あるので、ぐんぐん ^{たか}高くなるのです」と書いてあります。「ぐんぐん」は、いきおいよく どんどん すすむ ようすです。

もん 問2 ア

ふため 二つ目の だんらくに「一日に ^{いちにち}一メートル ^{いち}ちかく のびる こともあります」と書いてあります。一つ目の だんらくに「春になると」とあるので、イは ちがいます。三つ目の だんらくに「ふしとふしの ^{あいだ}間が、それぞれのびます」とあるので、ウも ちがいます。

もん 問3 ふしとふしの ^{あいだ}間

みつめ 三つ目の だんらくに「ところが ^{たけ}竹は、ふしとふしの ^{あいだ}間が、それぞれのびます」と書いてあります。

もん 問4 （れい）たけのこは、^{つち}土の ^{なか}中の ^でくきから 出て くるから。

よつめ 四つ目の だんらくに「たけのこは、この くきから ^で出て きます。だから、^{たけ}竹やぶの ^{たけ}竹は、^{つち}土の ^{なか}中で つながっているのです」と書いてあります。たけのこが、^{つち}土の ^{なか}中で よこに のびた くきから ^で出ることが ^か書けて いれば ○です。